



1 てんじんしゃ かがわ  
天神社 (勝川)

地蔵ヶ池公園の北西にあり、祭神は菅原道真公で、正和2年(1313)無盡禪師によって創建されたと伝えられています。明治42年に勝川地区の2つの神明社・洲原神社・山神社を合祀しました。現在の社殿は平成8年に改築されたものです。



2 たいせいじ じゅうおうどう  
太清寺/十王堂

古くは醍醐山龍源寺と称し、天正12年(1584)小牧・長久手の戦いの時、徳川家康が阿彌陀堂(現在の十王堂の前身)で休憩した逸話が知られています。慶安4年(1651)から寛文3年(1663)までに復興され、現在の寺号となりました。



3 はせがわてい すみよしや  
長谷川邸「住吉屋」

「勝川の渡し」を渡ったところの旅籠で、文政4年(1821)に790人が宿泊した記録「萬葉帳」が残っています。この地は小牧(上街道方面)への別れ道になる地点で、旅籠・店屋・車屋・芝居小屋が明治中頃まで軒を並べ、賑わっていました。



4 あたごしゃ あたごじんじやごふん  
愛宕社/愛宕神社古墳

火具都知命を祭神とする神社で、社殿は古墳を改築して建てられています。古墳は勝川古墳群の中で唯一現存するもので、6~7世紀頃の円墳とみられています。



A じょういけいけいこひ  
地蔵池懐古碑

昭和33年に改修されるまでこの辺りを流れていた地蔵川は、池のように広がり「地蔵池」とよばれていました。地蔵ヶ池公園内に「地蔵池懐古碑」には、醍醐荘勝川村榮祥の池で、文永年間(1264-1275)に池中から地蔵尊が発見され、池辺に地蔵寺(現在は大和通に移転)を建立したことが刻まれています。

かき追進町  
しががわいシテイバス

① 天神社(勝川)  
徒歩7分

② 太清寺/十王堂  
徒歩7分

③ 長谷川邸「住吉屋」  
徒歩2分

④ 愛宕神社古墳  
徒歩2分

中央本線 勝川駅  
徒歩13分

⑤ 八幡社(柏井)  
徒歩9分



B ちゅうおうせん かがわえきまか  
中央線と勝川駅赤しんがのモニュメント

明治33年(1900)7月25日名古屋~多治見間に中央線が開通しました。途中の駅は、千種・勝川・高蔵寺の3か所のみで、当初は、1日4往復の運行でした。勝川駅の旧ホームは、赤しんがのイギリス積みで作られていました。駅高架化の後、当時の面影を残す赤しんがでつくられたモニュメントが駅前の一画に設けられました。



5 はちまんしゃ かわい  
八幡社 (柏井)

下条村・上条村・松戸村・中切村の総鎮守で、寛文11年(1671)に現在地に遷座しました。元禄12年(1699)社殿再建の棟札があります。大正3年(1914)に宇前田の八幡社と宇北の神明社を合祀しました。



6 おわりこういきりやくどう なごやしじょうずいどう  
尾張広域緑道/名古屋市上水道

下街道と斜めに交差する道は尾張広域緑道で、桜並木は春の風物詩となっています。緑道の下には大正3年(1914)9月給水開始の名古屋市上水道が埋設されており、木曾川から水を引き八田町の沈殿池を経て名古屋へ送られています。



7 こうしんどう けいりんじ  
庚申堂と桂林寺

庚申堂(庚申寺)の本尊は青面金剛童子で、左手の観音堂に十一面観音像など26基が安置されています。寛文11年(1671)に入寮した上条村泰岳寺の蓮禅和尚が、現在庚申堂の少し東にある桂林寺とともに建立しました。



8 じげんじ  
慈眼寺

市内唯一の黄檗宗の寺で、尾張藩主の招きで現在の小牧市に開山したが廃寺となり、その後当地で宝永6年(1709)に中興されました。山門は宗派独特の建築様式で、境内には他に、鐘楼門、地蔵堂、弘法堂、福荷社などがあります。